

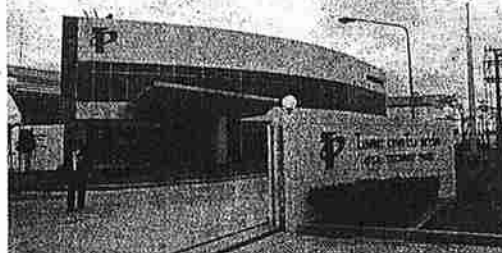
導光板用金型 プラスチックレンズ用金型の 汚れを完璧掃除 ソマックス株式会社 www.somax.co.jp TEL:06-6976-1108

●購読のお申し込みはフリーダイヤル (東京)0120-412346 (大阪)0120-597117 (名古屋)0120-462346 (福岡)0120-617120

東京・大田区の中堅製造業

タイで「匠の技」工場アポート完成

タイのアマタナコン工業団地に、東京都大田区の中堅製造業が入居する工場アポート「オオタクノパーク」が完成した。日本の大手完成品・部品メーカーを引っ張って、単独での海外展開が難しくなってきた独立系の中堅企業が集団進出する形だ。現地調達率100%を目指す発注元の「日本と同じ価格で買える」というオフアポートを、日本を代表する大田区をモットーに中小企業が海外へ踏み出す様子も現地で取材した。中小企業も国際化を避けて通れない時代、成功の方程式は「系列を超えた仕事」と「人材」の確保にありそうだ。



オオタクノパークは、完成したオオタクノパークから車で1時間強、1時間強に位置する、連日3200平方メートルの敷地に、1区画の賃料は月額20万円弱と、大田区側として、中小企業でも借りやすくは財政支出なしで地元企業の国際化を支援できる。オオタクノパークは、協会がコンサルティングを行い、入居後はアマタナコン工業団地の事務担当者がサポートする。オオタクノパークの開設式に、タイのスリヤタム、タタの代表、世界最大のタイ企業グループ、大田区長(右から)ら6人が駆けつけた。



「オオタクノパーク」担当する、プロジェクト会長が「オオタクノパーク」の落成式に、自国の工業振興のために、中小企業の窓口役を、実施している海外見本市、移め、建設・運営はアマタナコン工業団地を運営、大田区の産業振興の力を、化を助けてくれる仕事をするアマタ・グループが、知ったアマタのビシロム、拡大は見込みだ。」(山)

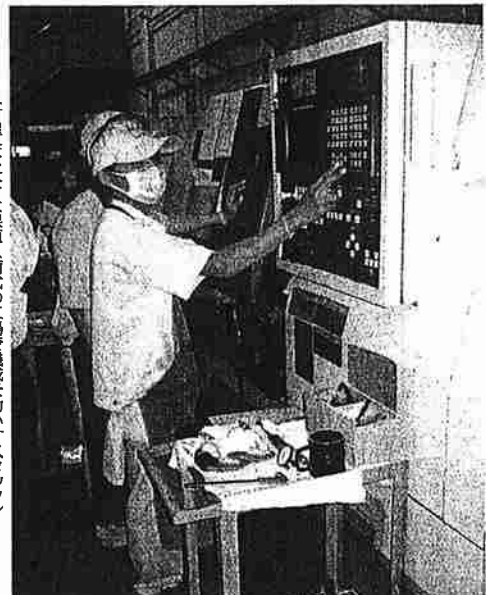
完成したオオタクノパークは、2棟の建ち上りも決まった。6月26日に現地で開いたオオタクノパークの開成式は、タイのスリヤタム、工業大臣が出席し、大田区企業の高高度技術力は世界的に有名。タイと日本の新たな交流となるこのプロジェクトは、アマタだけでなく、重要推進策だ」と、大田区長(右から)ら6人が駆けつけた。

世界に技術力示す 日系大手、現調率100%へ

オオタクノパークの最初の入居企業となった、徳和野村和社長、03・07・42・737(エニシキ)は、エニシキ製造の金型用半抜き加工機、シリンドラで高強度を持つ。社員数は100人を超え、大手自動車・鉄鋼各社と取引がある。大田区に代表するオオタクノ工業団地に進出、今回は移転・拡張の形で入居し、3区画を借りた。当初は部品だけを生産し、全量は大田区の本社工場へ輸出していたが、現地の日系メーカーの旺盛な需要に対応して完成品の生産も開始。現在は「タイ工場への売り上げ5割は完成品」(野村伯英)と、大田区に貢献している。大田区長(右から)ら6人が駆けつけた。



「タイには完成品メーカーと1次、2次の部品メーカーが進出済みで、現在はすでに高い現地調達率を誇る企業に近づいている。3区画のうちの1区画に工場を建て、タイへの自力進出が難しい中小取引先向けに、豊田通商が02年から「TTCテクノパーク」を整備、近く8社目が現地法人を設立し入居する。シャントロパコセンターでも部品や生産設備をつくる中小企業からの相模が多い。い、会社設立まで3カ月間、オフィスを貸す「ビジネスサポートセンター」の利用企業は開設から6年で150社を超えた。タイ現地資本の中小企業も増え、現地の日系企業が、大田区に貢献している。大田区側としては、タイ企業との関係が深くなる。大田区側としては、タイ企業との関係が深くなる。大田区側としては、タイ企業との関係が深くなる。」



オオタクノパークは、客のタイ工場への納品を現在、南武のほかに大田区内の中小企業が仮契約を結んでいる。そのうちの1社、西原製作所(西原社長、03・3751・4208)は、社員数18人、年商は約億500万円、デジタルカメラのフラッシュの反射板を、薄板フィルムを同時に成形する精密なプレスで高い技術力を持つ。「昨年あたりから顧客の提供が増えて、今後は投資計画は、大田区に拠点を移す必要はない。大田区に拠点を移す必要はない。大田区に拠点を移す必要はない。」

インタビュー

アマタ・グループ会長 ビシロム・クロマディット氏 オオタクノパークのベストセラーになったタイ側の代表者は、アマタ・グループのビシロム・クロマディット会長。台湾の大手企業「ビシロム」の代表者として、U)のような経済圏に発展させたいというビシロム氏の夢を聞いた。



5年で1000工場集めたい 大田区側として、中小企業でも借りやすくは財政支出なしで地元企業の国際化を支援できる。オオタクノパークは、協会がコンサルティングを行い、入居後はアマタナコン工業団地の事務担当者がサポートする。オオタクノパークの開設式に、タイのスリヤタム、工業大臣が出席し、大田区企業の高高度技術力は世界的に有名。タイと日本の新たな交流となるこのプロジェクトは、アマタだけでなく、重要推進策だ」と、大田区長(右から)ら6人が駆けつけた。

「オオタクノパーク」の落成式に、タイのスリヤタム、工業大臣が出席し、大田区企業の高高度技術力は世界的に有名。タイと日本の新たな交流となるこのプロジェクトは、アマタだけでなく、重要推進策だ」と、大田区長(右から)ら6人が駆けつけた。

フルサポート体制でチャンス大 「タイには完成品メーカーと1次、2次の部品メーカーが進出済みで、現在はすでに高い現地調達率を誇る企業に近づいている。3区画のうちの1区画に工場を建て、タイへの自力進出が難しい中小取引先向けに、豊田通商が02年から「TTCテクノパーク」を整備、近く8社目が現地法人を設立し入居する。シャントロパコセンターでも部品や生産設備をつくる中小企業からの相模が多い。い、会社設立まで3カ月間、オフィスを貸す「ビジネスサポートセンター」の利用企業は開設から6年で150社を超えた。タイ現地資本の中小企業も増え、現地の日系企業が、大田区に貢献している。大田区側としては、タイ企業との関係が深くなる。大田区側としては、タイ企業との関係が深くなる。」